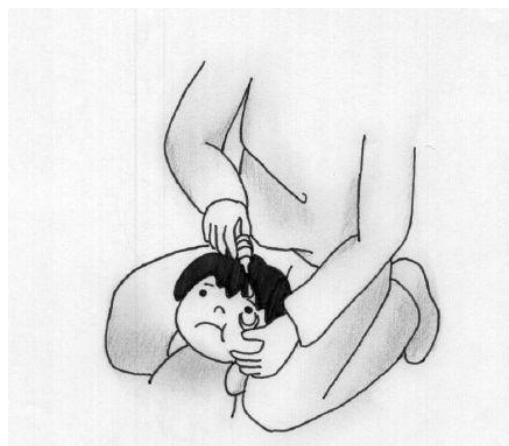


# 子どもの点眼薬の使用方法について

## ① 子どもの頭を固定する。

・特に、乳幼児の場合は、点眼薬を嫌がることが多いので、頭を振ってしまい、なかなかうまくさすことができません。子どもを仰向けに寝させて保護者の膝や股の間に子どもの頭を固定すると良いでしょう。

- ・「ひざ枕」をして子どもが怖がらないようやさしく行う方法もあります。
- ・怖がらせて泣かせてしまうと、涙で点眼薬まで流してしまうので、注意が必要です。



## ② 手で下まぶたを開けます。

容器の先端が視界に入らないように軽く目を閉じ、下まぶたをひっぱって点眼します。



## ③ 点眼薬の先がまつ毛やまぶたにつかない

ように1滴落とします。

・点眼薬の先がまつ毛などにつくと、そこから薬の中に雑菌が入る可能性があります。



・入れる量は1滴で十分です。それ以上さしても、薬が目からあふれてしまい、効果はありません。目じりにさすとうまくいくことがあります。

# 子どもの点眼薬の使用方法について

## ① 子どもの頭を固定する。

・特に、乳幼児の場合は、点眼薬を嫌がることが多いので、頭を振ってしまい、なかなかうまくさすことができません。子どもを仰向けに寝させて保護者の膝や股の間に子どもの頭を固定すると良いでしょう。

- ・「ひざ枕」をして子どもが怖がらないようやさしく行う方法もあります。
- ・怖がらせて泣かせてしまうと、涙で点眼薬まで流してしまうので、注意が必要です。



## ② 手で下まぶたを開けます。

容器の先端が視界に入らないように軽く目を閉じ、下まぶたをひっぱって点眼します。



## ③ 点眼薬の先がまつ毛やまぶたにつかない

ように1滴落とします。

・点眼薬の先がまつ毛などにつくと、そこから薬の中に雑菌が入る可能性があります。



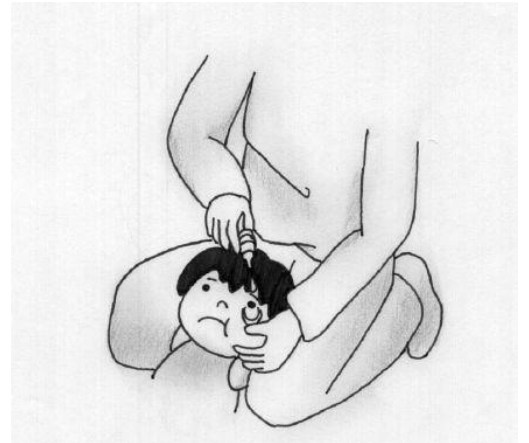
・入れる量は1滴で十分です。それ以上さしても、薬が目からあふれてしまい、効果はありません。目じりにさすとうまくいくことがあります。

# 子どもの点眼薬の使用方法について

## ① 子どもの頭を固定する。

・特に、乳幼児の場合は、点眼薬を嫌がることが多いので、頭を振ってしまい、なかなかうまくさすことができません。子どもを仰向けに寝させて保護者の膝や股の間に子どもの頭を固定すると良いでしょう。

- ・「ひざ枕」をして子どもが怖がらないようやさしく行う方法もあります。
- ・怖がらせて泣かせてしまうと、涙で点眼薬まで流してしまうので、注意が必要です。



## ② 手で下まぶたを開けます。

容器の先端が視界に入らないように軽く目を閉じ、下まぶたをひっぱって点眼します。



## ③ 点眼薬の先がまつ毛やまぶたにつかない

ように1滴落とします。

・点眼薬の先がまつ毛などにつくと、そこから薬の中に雑菌が入る可能性があります。



・入れる量は1滴で十分です。それ以上さしても、薬が目からあふれてしまい、効果はありません。目じりにさすとうまくいくことがあります。

# 子どもの点眼薬の使用方法について

## ① 子どもの頭を固定する。

・特に、乳幼児の場合は、点眼薬を嫌がることが多いので、頭を振ってしまい、なかなかうまくさすことができません。子どもを仰向けに寝させて保護者の膝や股の間に子どもの頭を固定すると良いでしょう。

- ・「ひざ枕」をして子どもが怖がらないようやさしく行う方法もあります。
- ・怖がらせて泣かせてしまうと、涙で点眼薬まで流してしまうので、注意が必要です。



## ② 手で下まぶたを開けます。

容器の先端が視界に入らないように軽く目を閉じ、下まぶたをひっぱって点眼します。



## ③ 点眼薬の先がまつ毛やまぶたにつかない

ように1滴落とします。

・点眼薬の先がまつ毛などにつくと、そこから薬の中に雑菌が入る可能性があります。



・入れる量は1滴で十分です。それ以上さしても、薬が目からあふれてしまい、効果はありません。目じりにさすとうまくいくことがあります。